

50歳を過ぎたら^{たいじょうほうしん}帯状疱疹の予防接種ができます

帯状疱疹とは

帯状疱疹は水ぶくれを伴う赤い発疹が、体の左右どちらかの一部に、帯状にピリピリとした痛みがあらわれる皮膚の疾患です。痛みは徐々に増していき、強い痛みを伴うことが多く、その症状は3～4週間ほど続きます。症状の多くは上半身にあらわれますが、顔や目、頭などにあらわれることもあります。

多くの人が子どもの時に感染する水痘（みずぼうそう）ウイルスが体の中で長期間潜伏し、過労やストレスなどで免疫力が低下した際などに、帯状疱疹として発症します。

特に50歳代から発症率が高くなり、80歳までに約3人に1人が帯状疱疹を発症するといわれています。

帯状疱疹の合併症について

神経が損傷されることで、皮膚の症状が治った後も、痛みが残ることがあり、3カ月以上痛みが続くものを帯状疱疹後神経痛（PHN）とよびます。

50歳以上で帯状疱疹を発症した人のうち、約2割がPHNになるといわれています。

また、帯状疱疹は頭部から顔面に症状が出ることもあり、目や耳の神経が障害されると、めまいや耳鳴りといった合併症が見られることがあります。

帯状疱疹 Q&A

Q：以前、帯状疱疹になったことがあるけど、ワクチンを接種できますか？

A：接種できます。

一度帯状疱疹になった人でも、体の免疫が低下すると、再びなる可能性があり、帯状疱疹の予防が大切です。

Q：帯状疱疹はうつる？うつらない？

A：帯状疱疹は体内に潜伏しているウイルスが原因で発症するため、他の人から帯状疱疹としてうつることはありません。ただし、まだ水ぼうそうになったことがない人は、ウイルスの感染で水ぼうそうを発症することがあります。水ぼうそうの入院患者の内、約3割は帯状疱疹が感染源だったと報告されています。

国立感染症研究所感染症疫学センター：病原微生物検出情報(IASR). 39(8), 131-132, 2018

Q：帯状疱疹になったら、どんな治療を受けるの？

A：抗ウイルス薬などによる治療を行います。発症早期に治療を開始するほど効果が期待できますので、症状を自覚したら早めに受診しましょう。

稲田 英一 他 編：帯状疱疹 Up-to-Date. p68-76, 診断と治療社. 2012

带状疱疹ワクチンの公費負担の対象者（次の1～4のすべてを満たす方）

1. 直島町に住民登録がある方
2. 接種日時時点で満50歳以上の方
3. 公費により水痘ワクチン（ビケン）の接種を受けていない方
4. 带状疱疹ワクチン（シングリックス）の予防接種を2回受けていない方。ただし、令和4年4月1日以前に带状疱疹ワクチン（シングリックス）予防接種を1回受けている方で、2回目の接種が定められた間隔で接種できる方（2回目接種のみが公費負担の対象）

带状疱疹ワクチンの種類について

接種できる予防ワクチンには、現在2つの製品（シングリックス、ビケン）があります。それぞれ効果などに違いがありますので、接種を希望する際には、接種する医療機関にご相談するなどし、どちらか一方のみを選択して規定の回数の接種をうけてください。

	乾燥弱毒生水痘ワクチン（ビケン）	乾燥組換え带状疱疹ワクチン（シングリックス）
ワクチンの種類	生ワクチン	不活化ワクチン
接種方法	皮下注射	筋肉内注射
有効性	予防効果は50%程度 ^(※1)	50歳以上の有効性97.2% ^(※2) 带状疱疹後神経痛の発症なし 70歳以上での有効性89.8% ^(※3)
長期予防効果	8～10年で効果消失してしまう	8年後で84.0%の有効率
副反応	接種後1～3週間後に発熱や、2～3%に全身性の水痘用発疹がみられることがある	接種後7日以内の主な副反応 注射部位の痛み（78%）、赤み（38%） 腫れ（26%）、筋肉痛（40%）、疲労（39%）、頭痛（33%）、悪寒（24%）、発熱（18%）、胃腸症状（13%）など
接種回数	1回	2回 （2回目接種は1回目接種の2ヶ月後から6ヶ月後まで）
接種不適合注意事項	免疫機能に異常があるもの及び免疫抑制をきたす治療を受けているものに接種してはならない（不明な場合は必ず医師へ相談すること）	水痘の予防接種には転用できない 免疫が低下している場合でも接種が可能
自己負担額	1,700円 （接種費用から助成金額を差し引いた額）	1回あたり5,000円 （接種費用から助成金額を差し引いた額）

(※1) ZOSTAVAX®成績より

(※2) Lal H. et al.: N Engl J Med. 372(22),2087-2096,2015

(※3) Cunningham Al. et al.: N Engl J Med. 375(11), 1019-1032, 2016

接種の受け方について

直島町立（ふれあい）診療所で受けることができます。

あらかじめ予約が必要となりますので、直島町立（ふれあい）診療所（☎087-892-2266）にお電話で予約の上、接種を受けてください。

（一人当たりいずれか1つのワクチンについてのみ助成）